

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 若竹の園

令和4年度 入所児童数

月 年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	12	12	14	14	14	17	17	18	18	19	19	186
1.2歳児	80	80	80	80	80	80	80	81	81	81	81	81	965
3歳児	42	42	42	42	41	41	41	41	41	41	41	41	496
4歳以上児	80	80	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	950
計	214	214	213	215	214	214	217	218	219	219	220	220	2,597

令和4年度 一時保育利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1日利用	66	73	117	105	63	97	113	99	78	98	98	138	1,145
半日利用	48	63	63	64	31	61	49	48	62	68	72	66	695
合計	114	136	180	169	94	158	162	147	140	166	170	204	1,840

令和4年度 延長保育利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	158	159	219	189	153	216	233	207	186	190	226	190	2,326

コロナ禍の保育と休園

令和4年度はコロナ禍の中での過ごし方が多様化し、行事のあり方やどう変化させていくか

が課題となった。しかしながら、コロナのまん延も度重なり行事ができるかどうか常に緊張が走るが多かった。子どもたちの中には体の弱い子や基礎疾患がある子もあり万一のことを考えると慎重にならざるを得ないときもあった。

保護者は理解を示してくれており、コロナ禍の保育の形にも慣れてきたように感じている。少しずつその形を変えながら、参観日をもうけたり、市民会館での人形劇鑑賞、秋のバス遠足保護者の方との園庭整備、個人懇談の復活ができたことは嬉しいことだった。

その反面、部分休園と全体休園を何度も繰り返した。

休 園	4/5・6・7	全園児	5歳児から瞬く間に兄弟感染も起こり、入園式早々の休園だった
	8/6・7	2・3歳児	3歳児があつという間に感染し、職員も多く罹患したことで保育の継続が難しくなった
	↓		
	8/8・9・10	全園児	
	11/19・20・21・14・5歳児	4・5歳児	一旦抑え込んだかと思っただが兄弟に感染が広がる
	12/2・3・4	全園児	

子どもや保護者からの発症は、職員への感染へとつながり、罹患者だけではなく保育に関わる保育者たちの疲弊も重なり、注意しながら運営する日々となった。

休園における苦情はなく、夏の休園時は休みの期間だったことありお盆後の一週間も登園が少なく、2週間ほど少人数での保育となった。



採用

深刻な保育士不足

法令 「0歳児3人に1人、1・2歳児6人に1人、3歳児20人（15人）に1人、4・5歳児30人に1人」よりも職員数は多くいるが、正規職員が少なく早番や遅番などの時差勤務や年休取得が厳しい。

何より日々の保育においても、特別支援児の保育士加配が必要であるとの思いがあった。
現在長く勤続している職員も4・50代が増えており、保育理念の伝承を視野に入れ若い世代の入職数を増やしたい。正規職員の増加が希望である。



例年参加している倉敷市民間保育所協議会の就職フェア・就職ガイダンスや、ハローワーク
県の保育士登録に加え株式会社yell（[リクナビ](#)）での登録・DM発送を行う。

DMの反応が少ないことを知り、5・6月に行った就職ガイダンスの参加者名簿をもとにして
園の紹介文と共に8・9月に行う[体験会と座談会](#)のチラシ、採用試験についての手紙を園から
約40名に送付する。また養成校に向けても発送する。

その後ボランティアや園の見学申し込みもあり、採用試験3回実施。5名の就職が決まる。

採用校（くらしき作陽大学・倉敷市立短期大学・就実短期大学）の3校

不適切保育と安全対策

「不適切な保育」にあたる行為として、以下のものが挙げられているが、なかには児童虐待に
該当するものが含まれる。

- 子ども一人一人の人格を尊重しない関わり
- 物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉がけ
- 子ども一人一人の育ちや家庭環境への配慮に欠ける関わり
- 差別的な関わり
- 罰を与える・乱暴な関わり

園内での虐待はもちろんだが、子どもへの関わり方については会議や昼礼で職員に都度話をする。
保護者とも日頃から情報共有をとりあうことで信頼を高めつつ、職員間でも情報共有をしていく。
また「不適切な保育」チェックリストを活用し、保育の振り返りや自身の保育の反省を促していく。
保護者など外部の人は、保育の切り取った場面しかわからないので、第三者に誤解を与えるような言
動には注意をするよう伝える。些細なことでも、大声で泣いたりパニックになる子どももいる中で
保育士が過剰に意識して、萎縮してしまわないように後ろで支える体制も必要と感じている。

安全対策

保育事故のニュースも多く、2021年に福岡県で起こった送迎バスでの死亡事故に衝撃を受けたが
2022年にも静岡でのバスに置き去りになった3歳児の死亡事故が大々的に報道された。

同じく前年岡山での遊具に首を挟んでの死亡事故から、園内の安全対策についても留意するよう
に市から連絡が入ることが増えた。園でも遊具での遊びや危険について全体で話し合う。

園内の遊具については、月に2回保育士たちにより遊具点検を行い、危ない箇所は遊具会社に連絡し、修理までは目視でわかる印をつけて修繕を待つ。遊ぶルールについても、年齢や発達によって安全に遊びが楽しめる時期を具体的に話し合い、園内で決めてマニュアルの中に示している。保育室内でも人数の把握、遊具玩具の数や安全性の確認、職員間での声を出しての連携など、必ずしておかなければならないことをリーダー保育士と話し、それぞれに周知する。

子どもの行動は、大人の予測をこえていくため、自分のクラス以外の子どもたちであっても留意し全員の職員ですべての子どもたちを見守っていくようにする。

バス事故の際は、登園したかどうかの保育園側の確認ミスが相次いでいた報道もあり、欠席している子どもの確認業務が増えた。心配した保護者（祖母）から朝電話で「この園では連絡なしで休んでいる子にはどうしているのか、電話してるか」などの問い合わせもあった。

登園時間の9：00を過ぎても連絡なく来ない場合は、担任⇒事務所⇒保護者確認Tel をする。
この場合園から9：30~10：00の間に連絡・確認する旨を伝え、園児の把握に努める。

このことに関しては倉敷市の指導監査でも確認され、今後も連絡していくことを依頼された。また遊具点検や年齢に合わせた遊び方、リスクマネジメントについても資料(各クラス保管)確認がされ、事故防止の対応策は厳しく見られるようになっている。

食事についても、形状や固さなど献立会議やその都度委託の日清医療食品の栄養士と話し合う。食するときの環境や子どもの様子（眠い時ぐずっている時は無理強いしない）に留意し、常に保育士がそばにつき様子を見守る。食後の様子も睡眠時も定期で見守る。

薬は医師の処方に関し、一回分を依頼書と共に名前を書いて袋に入れたものを保育士に手渡しで預かる。クラスでは全員が把握するよう声掛けと共に検診簿に記入し、ケースに入れて引き出しに保管する。服用時は必ず二人で薬の表示と子どもを確認する。一人担任の場合はfreeか事務所に行く。

不適切保育

子どもたちが幸せに過ごすためには、周りの大人の影響がとても大きい。ご家族はもちろんのこと日中共にいる私たち保育者のかかわりは子どもたちにとって大きく関係する。

虐待ではなくとも、子どもにとって良い言葉かけや態度ではない場合や自分の言動が子どもに寄りそえるものであるかなど、上記にも書いたがチェックシートを使って振り返る。相互監視も伝えるが職員間の年齢差や力関係なども影響しすすみにくい。保育士たちも褒められ、認められる

ことで自信を持ち伸びていく。そのためには職員の関係性が重要であり、働く環境が心地よくな
らなければしんどさや辛さが積み重なっていく。一人ひとりの保育への思いを大切に持って
ほしい。そこで、3月には職員が気持ちよく働くための「パワーハラスメントと虐待（不適切保
育）」について、森脇法律事務所の竹内弁護士による勉強会を行う。

また、園には弁護士がついていること、産業医への相談体制があること、保育者を守るための相
談窓口があることを伝えていく。虐待ではないがよくないかわりをしないための取り組みが必
要になっている。職員を守るための環境整備（室内カメラなど）も考えていきたい。

園だけでなく家庭内での虐待についても当園にも見守り児がおり、定期的な確認がある。児童相
談所だけでなくこども相談センターからの聞き取りもあり、対象は少ないがクラス担任や過去の
担任、主任などが気を付けながら変化があるときは報告・情報共有するようにしている。

☆保育園の職場環境の問題

* 竹内先生資料抜粋

- ・保育士一人あたりの負担が重い（人員不足のため、保育士が一人きりで保育を任されている）。
 - ・保育士が相談できる環境が整っておらず、精神的負担を抱え込みながら業務を続けている。
 - ・虐待や不適切な保育について職員の知識を深める機会が用意されていない、事案が発生した場
合の再発防止策が講じられていない（改善されない）。
 - ・どのような行為が虐待・不適切な保育に該当するかを正確に認識する（何気なくやっている
ことが実は問題になっているということ認識する）。
 - ・定期的に研修の場を設ける。
 - ・正確な認識に基づいて慎重な行動をとると、どうしても保育士のストレスは増えると思わ
れる・・・
- 保育士が気軽に悩みや不満、ストレスを吐き出せる職場環境作りが必要

若竹の園 ハラスメント対応について

* 職員配布

若竹の園では、あらゆる「ハラスメント」の発生は許さない姿勢で取り組みます

《 職員の職場環境を守るのは管理職の仕事 》

- ・相談窓口を設置し、事実を確認、解決に努める

我慢しないでください。

頑張ることと耐え忍ぶことは違います。

職員一人一人に悩んでいること、困っていることを早めに相談してもら
う
報告することに悩まない、報告者へのペナルティはないことを伝える

プライバシーの保護、守秘義務を約束する

上司（管理者）は報告内容を共有し、事実確認を行うとともに解決策を講じる

報告を一方向的に100%信じるのではなく、事実を確認します。相手が困るのではなどの心配は無用です。

《 正当な職場環境を守るのは職員の仕事 》

・気持ちの良い仕事・職場環境を一人ひとりが意識して作る

みんながわかっていること。
透明であること。

問題行動を見つけた場合に、上司や管理職に伝えるのは「報告」であり

告げ口等ではないことを周知する

正当な行為です。

報告者はできるだけ感情を入れず、事実の報告に努める

嫌いだから、面白くないからはNG

・職務外で職場内のこと（緊急性のない）のメール・LINEはしない

仕事とプライベートは分ける

困るときは上司に伝える。

プライベートな場面の行為でも問題、プライベートと職務を混同しない

《 相談窓口 》

職員窓口・・・新居田・主任（鎌田）・主任（茂呂）・園長

上記以外のどなたに相談されても構いません

弁護士窓口・・・竹内 雄紀先生（森脇法律事務所所属…法人の顧問弁護士事務所）

連絡先 086-226-1211 takeuchi-y@moriwaki-lawoffice.com

メールアドレス・・・園長PC 『wakatake7@mx5.kct.ne.jp』（匿名でも可）

《 園内研修や相談機会の実施 》

「ハラスメント」についてなど・・・竹内先生より

フランクに自由に言ってもらうことを
園が吸い上げていきます。

職員面談・・・産業医 菊辻先生と2者面談

<目標>
働きやすい職場環境を作ろう！

色々な問題は報告がないとわからないもの。
辛いことが積み重なると間に合わない。
信頼して頂くことで対処ができる。

食育

子どもたちに食の楽しさ大切さを伝えていきたい

職員と共に行うことで、行事・季節や食材などの体験から伝えられるようにする

園庭の果樹

果樹への興味や子どもたちへのきっかけ作り、食し方を考える

さくらんぼ・あんず・金柑・ブルーベリー・ゆずらうめ・ぶどう・柿・姫リンゴ

収穫した果樹を食べる。洗って食べる。煮詰めてジャムにする工程を自身で経験しながら伝える。



保育園で育てる

野菜など栽培について調べたり、調理法について考える

育ててみたい野菜や果物を考える。種や苗を植える。水やりをする。収穫する。

トマト・きゅうり・ピーマン・すいか・かぼちゃ・オクラ・はつか大根など

プランターやペットボトルのケースで栽培できるよう土づくりをする。

収穫したものを食べる。野菜を触る。開いてみる。調理して食べる。



畑で芋掘り体験をする **畑を作る詐欺用を主任を中心に行う 収穫や焼き芋体験をする**

軍手をはめて芋を掘る。虫や土に触れて芋を傷つけないよう掘り出す。土のおいや野菜の重さを感じる。家に持ち帰り食べたい料理を考える。

焼き芋パーティーをして味わう。みんなで食べる喜びを感じる。



行事で楽しむ **年中行事にちなんだ食体験をもちより、子どもとともに楽しむ**

わたがし・焼き芋・餅つき・七草がゆ・とんどやき・かぼちゃ炊き・飯盒炊飯・かき餅など

体験を通して、自分の手で工程を楽しみ、においを感じ、味わうことで食への意欲関心を高める。

園ならではの楽しい雰囲気の中で行事と共に伝承していく。遠足でスタジイを拾い炒って食べる。

給食で **食材や旬について子どもたちへ伝える 行事などのメニューについて話し合う**

季節のメニューで旬を知る。野菜の旬、タケノコなどのその時期しか食べられないものを知る。

七夕そうめんや鮭ずしの盛り付けに食欲を感じ楽しく食事をする

行事にちなんだおやつを食べる。お月見会の日にはウサギと月、団子のクッキーの形を喜ぶ。

旬の果物を食べる。イチゴ、メロンや西瓜、マスカット、洋ナシなど毎月ポスター掲示でその日を楽しみにしている。

季節のカードを添えてもらい食事の季節を知る。

子どもたちの好きなものを次月のリクエストメニューに加えたり、保護者が家庭で作れるように毎月の給食だよりにレシピの紹介を入れる。



保護者に知らせる **主任の給食だよりで前月の食体験やメニュー、子どもの様子を伝えていく**

給食展示・給食だより・園だよりの写真などで紹介する。

特別支援児保育アドバイザー

令和4年度も川崎医療福祉大学 臨床心理学科教授 武井祐子先生に依頼する。平成19年度より発達に特性がある子どもたちの理解と、援助等保育上の悩みや保護者対応など 専門の先生に園を訪問していただき、保育士に指導していただける倉敷市の事業で 訪問回数は4時間を1回として、4月は11名の子どもで年間5回の訪問の依頼をうける。しかしながら、4年度もコロナ禍の影響で園内での見学がなかなかできず年齢に応じた保護者への対応などを保育士の思いや子どもの状態を共有しながら指導を受ける。専門の先生に、自分たちの思いや保護者の思いを聞いてもらいながら少人数での話し合いをする

12月20日、21日、1月18日、30日、2月28日の5回で行う。

- ・子どもの発達で集団の生で気になっている部分や本人の困り感を保護者に伝えるとき
- ・保護者に伝えている時の、保護者の理解や受容についての確認の取り方、話し方
- ・家庭と集団での見方の違いと互いの理解

保護者も子どもと似た気質であることが多いため、伝えるときは具体的に話す
保護者の話を一つずつこちらが尋ねながら聴くことで、確認や保護者の気づきにつな
がる

- ・療育に行くことの相談
- ・療育先での姿と園での集団の中でのより良いつなげ方。子どもたちに気を付けること
- ・療育先や病院、保育園に任せてしまっている保護者との連携
 - 子どもにどうかかわっているか、小さなことでも成長部分はしっかり伝える
 - しっかり褒めることで自信につなげていくとともに保護者と喜び合う
 - 成長部分を認めてもらうことで保護者を支援側に惹きつけていく
- ・クラスで気になっていることを伝えていくと「うちの子は発達障がいですか？」と聞かれるこ
とがある。どう話すか戸惑う。
- ・伝えて受け止めてくれるとよいが、反感を買うこともあり保護者がどんな意図で尋ねているか
がわかりにくい。子どもへの接し方がきつくなることもある。
 - 保護者の方が気になっていることを、まずは聴いていくことが大切
 - うまくいった事例や子どもの一生懸命な姿をほめ認めていることを伝える
 - 不安からなのかどうかわからないときは、すべてを伝えてしまわず、まずは保護者との
関係づくりに努める
- ・2歳児の子どもの姿を伝えると、保育士の対応をしっかりしてほしいと要求される
- ・保護者の要求が通らなると「ずっと先生が傍について集団活動にいらしてください」と言われる
- ・こちらの伝えたい思いが、伝わっていないときはどうしたらよいか
 - 伝えないといけないという思いばかりが強くなっていないか
 - どうして伝えないといけないのか、今しなければいけないことは何か、伝えることで
はなく、違う方法でもよいのではないかと考え方をかえる
 - 伝えようとする姿勢が強いほど、相手にとっては寄り添う思いが届きにくくなる
 - まずは信頼関係を作る
- ・子どもへの言葉かけと子どもが大人に命令口調で話してくるときの対応や受け応えの方法
- ・気に入らないことが起こると怒りの感情が前面に出て、他児を巻き込んだり大声を出す子供が
増えた
- ・保護者からは要求が多く、こちらから聞いていることになかなか答えが返ってこない
 - 具体的な言葉がけをすることを意識する
 - まず気持ちを受け止めるようにする
 - 聞き返したり質問に質問で返すようなことはしない
 - 子どもの気持ちにこちらが近づこうとする

リスクマネジメント

監査時の確認もあり、各クラスにあるファイルを見直す。

危ない箇所の確認、人数確認、遊ぶ場所や遊具の使い方、

怪我が起きた時の処置 誤飲 誤嚥 熱中症 てんかんなど

引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策について

ハラスメントと不適切保育について

竹内弁護士による勉強会
不適切保育のチェックリスト活用

●相談体制の整備について

・「②相談体制の整備」として、「ハラスメント相談窓口」を設置している企業もあるが、この窓口が機能していないケースが多い！

(具体例)

・そもそも就業規則や会社の規程が従業員に周知されていない／規程に「相談窓口設置」と記載されているだけである ←相談窓口の形骸化

・相談員への相談がしづらい (=人選の問題)

→相談員がハラスメントに及んでいる／相談員が同じ部署の人間である

●虐待（不適切な保育）をなくすには？

・どのような行為が虐待・不適切な保育に該当するかを正確に認識する（何気なくやっていることが実は問題になっているということを認識する）。

・定期的に研修の場を設ける。

・正確な認識に基づいて慎重な行動をとると、どうしても保育士のストレスは増えると思われる・・・

→保育士が気軽に悩みや不満、ストレスを吐き出せる職場環境作りが必要

遊びの伝承

語ろう あそぼう あそび紹介

5/26 6/29 10/25 11/25 1/24 2/21

<目的>

- わらべうたを中心に語り、小道具、ゲームなどの玩具の紹介を行い、若竹の園が長年大切にしてきたあそびやその思いを伝えあい、共通意識を持つ
- 季節に合わせた遊びを紹介し、明日からの保育現場で子どもたちに伝え、楽しめるようにする

<方法>

- 月に一回、夜の勉強会、またはお昼寝の時間を利用して行う
- 内容は事前に知りたいあそび、やってみたいあそびを職員にたずね、希望のものをできるだけ組み入れるようにすると同時に季節を考慮し、対象年齢、あそびの内容がかたよらないようにする

新型コロナウイルスの影響で毎月の開催ができなかったが、職員もこの研修会を通して親睦を深めつつ翌日からの保育で遊ぶ様子が見られた。園内で共通しているので兄弟で歌っている姿は可愛らしい。

R4,5,26 18:00~19:00

<内容>

*わらべうた

- ・げこげこ かえる
- ・あめあめ やんどくれ
- ・いなかの おじさん

- ・てるてるぼうず てるぼうず
- ・ででむしでむし でろやほい

*うたあそび

・あめふりくまのこ



『げこげこ かえる』のしぐさあそび

『てるてるぼうず てるぼうず』はてるてるぼうずをみせながらうたったり子どもと一緒に作ったりする



梅雨の季節が来るので、雨に関するわらべうたを中心にピックアップした。低年齢から大きいクラスの子どもまであそべるものをと考えたが、大きいクラスの子どもが楽しめるジャンケンあそびや手合わせ、集団あそびも紹介すればよかった。





『あめふりくまのこ』は勉強会に好きなくまを持ち寄ってもらい、歌に合わせてぬいぐるみを動かした

<勉強会のその後>

『げこげこ かえる』は保育の中でよく歌ったりあそんだりしていた。
特に、低年齢のクラスでは、しぐさを真似するかわいらしい姿がみられた。

R4,6,29 18:00~19:00

職員が色をつけたもの

<内容>

*わらべうた

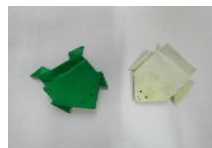
- ・たけに たんざくだよ
- ・ささに たんざく
- ・かわの きしの みずぐるま
- ・いも いも
- ・ソーメン ニューメン

*折り紙

- ・ぴよんぴよんがえる

*小道具作り

- ・『いも いも』のペープサート



折り紙の
「ぴよんぴよんがえる」

『いも いも』のペープサートを作りたい、自分のものがあつたらいつでも子どもどうたうことができるという意見があつたため、原紙を用意した。

七夕まつりで踊れるようにと七夕に関するわらべうたをあげた。

『ささにたんざく』は何年もまえに職員で振付を考えたものなので、毎年、大切に伝えていきたいと思う。

『ソーメン ニューメン』や『きゅうりちゃん』など今までも保育の中でよく歌われているわらべうたも再度、職員でうたったりあそんだりすることができてよかった。

折り紙で子どもと一緒に折ったり、あそんだりできるものが知りたいという意見があつたので「ぴよんぴよんがえる」の折り方を紹介した。2歳児のクラスでは、保育士が折ったカエルを玩具棚に置き、興味を持った子どもが出してあそぶ姿がしばらく続いていた。

R4,10,25 18:00~19:00

<内容>

*わらべうた

- ・こんこんさん あそびましょ
- ・かえろかえろ かきのはかえろ
- ・タヌキサン タヌキサン ヒヲヒトツカシトクレ

*かたり

- ・親子きつねのはなし



『かえろかえろ かきのはかえろ』のかたりの様子とペープサート

- ・ひとつどんぐり
- ・カキがまっかにうれたので
- *折り紙
- ・からす
- *小道具作り



『かえろかえろ かきのはかえろ』のペープサート

『ひとつどんぐり』はどんぐりをひとつずつ並べながらかたる

秋にあそびたいわらべうたを中心に紹介した。

- ・園庭の柿が色づいてきているので柿のわらべうたやかた取りを取り入れた。
- ・『こんこんさん あそびましょ』はしぐさが入っているので低年齢の子どもも遊びやすく、年長児でも集団遊びとして鬼ごっこのようにあそべるので保育に取り入れやすいと考えた。
- ・『ひとつどんぐり』は子どもがどんぐりを見つけて保育士にみせにくることが多い時期なので保育の中でよく話していた。



『通りゃんせ』でもんくぐりの遊びとお札を取りに行く遊びをする

- ・ゆきふるしろい
- ・クリスマスの夜（ろうそくぼっ）
- *かた取り
- ・おでこにチュほっぺにチュ
- ・ツン コンパン
- *折り紙
- ・まことこま



『ほっぺにチュ』のかた取りは人形を使って

*画用紙を使ったこま作り



画用紙のこま



まことこま



<勉強会のその後>

- ・『ゆきふるしろい』『ろうそくぼっ』はクリスマス会で子どもたちとうたった。
- ・こまはお正月あそびのコーナーとして使い、その後各クラスでも使えるようにした。竹串を指先でつまんで回すことがはじめ難しかった子どもも何回かするうちに回せるようになり嬉しそうだった。友だちとどちらが長く回せるか競争する姿もみられた。（3歳児）
- ・『ペッタラペッタン』は低年齢から年長児までお手玉を使って遊ぶ姿がよく見られた。

R5,1,124 18:00~19:00

『はないちもんめ』
職員同士、「〇〇ちゃんがほし
い」と名前呼び合った。

<内容>

- * わらべうた
- ・ はないちもんめ
- ・ あぶくたつた
- ・ ココハテックビ
- ・ ちっちゃいまめころころ
- ・ エンドウマメソラマメ
- ・ ひとつろふたろろ（紙風船を使って）



『あぶくたつた』
幼い頃遊んだ歌が人によって少しずつ違っていたのでみんながうたいやすいもので統一した。



『紙風船』
やってみると楽しかった。
つくことに夢中になった。



* 折り紙

- ・（指人形にもなる）オニの顔



『エンドウマメ』
小道具作り

<勉強会その後>

・『あぶくたつた』をした。保育士と一緒に鬼になり言葉を自分から言おうとしたり、しぐさを真似したりしていた。「オニが来た音」と言ってみんなが逃げて捕まえることを楽しんでいた。

「もう一回しよう」と言う声が聞かれた。（2歳児）

・紙風船を友だちとつき、笑い転げていた。風船がつぶれないように力を加減する姿も見られた。紙風船の穴に口を近づけてふーっと息を入れようとする姿が見られた。

『ひとつろ』とうたいながらひとりずつく姿もあった。（5歳児）

・園庭で保育士に誘われて『はないちもんめ』をした。どの子を選ぶか相談することが楽し

そう選ばれた子は嬉しそうだった。(4歳児)

R5,2,21 18:00~19:00

<内容>

*わらべうた

- ・ひなさまこさま
- ・うぐいすのたにわたり
- ・にぎりぱっちり
- ・わたげわたげ

- ・ちゅっちゅっこことまれ
- ・ツクシハツツン

*かたり

- ・三月ひなさま
- *うたあそび
- ・ハンカチをたたんで

『うぐいすのたにわたり』
声あてをする。あてられるか
どうか、オニになった職員は
ドキドキだった。



『にぎりぱっちり』 『わたげわたげ』
『ちゅっちゅっこことまれ』で使用
したオーガンジーの布



- ・3月3日のひな祭り会で子どもたちにうたったり語ったりできるように、ひな祭りに関するわらべうたを取り入れた。その他にも春の訪れが感じられるようなものを多く取り入れるようにした。
- ・オーガンジーのハンカチがたくさんあるので、そのハンカチを使ったあそびも紹介した。
- ・『ハンカチをたたんで』のうたは、2歳児がちょうどハンカチを使い始める時期でもあり、ハンカチをたたむという練習にもなるのではないかとということで紹介した。このうたを知らない職員も多くいたが勉強会后、子どもたちとうたう姿がみられた。

あそびプロジェクト2022

子どもの興味や関心、発達状況の把握、手作り遊具、遊びの伝承など園全体で話し合いながら進めていく。準備も協力し合い、遊びのコーナーも継続するものや新しいものなど過去の経験を活かしながら、子どもたちのキラキラとした瞳とわくわくした気持ちを楽しみにして、心身ともにのびのびと遊ぶことのできる環境作りに努めていく。

子どもたちの「なぜ？」に気づき、「みて、できたよ」の思いを共有しながら、一人ひとりが達成感や満足感など、認められる喜びから自身へとつなげてほしい。

家庭でも話しており、園でのことが親子の会話となっている様子をうれしく思う。

4月26~28日 こどもまつり

【ねらい】・春の自然に触れながらのびのびと身体を動かしてあそぶ

- ・端午の節句や子どもの日に興味や関心を持ち、由来を知ったり、物語を聞いたりして楽しむ

【活動】・虫に触れるコーナーや変身コーナー、宝探しなどを楽しむ



- ・こいのぼりを使った様々な手作りおもちゃコーナーを楽しむ
釣り、トンネル、ロケット、的あて、エレベーター
- ・こいのぼりやかざぐるまを持って走る
- ・26日は端午まつりとして、全体での踊り（こいのたきのぼり）や年齢ごとの活動を行う（玉入れ、しっぽとり、よもぎしょうぶ、かけっこ）



5月18～20日 シャボン玉であそぼう

【ねらい】・シャボン玉の面白さ、不思議さを楽しみ、繰り返し遊んでみようとする

- ・大きさの違いや色の美しさに気付く
- ・考えたり、試したり、工夫したりして発見したことを喜んで、保育士や友だちに伝える



- 【活動】
- ・吹いて楽しむもの、つけて出すものなどコーナーを作り、年齢によって時間や場所などをある程度設定して、いろいろなシャボン玉遊びを楽しむ
 - ・吹く、つけるなどの道具、シャボン玉液の配合なども工夫する
 - ・4.5歳児はシャボン玉液やストローなどを作って、実際に使用して楽しんだ

6月21～24日 ふしぎランド 保育参観

【ねらい】・興味を持った自然物や素材に自分から関わり、見たり、触れたり、試したりしながら、面白さや不思議さに気付く

- ・好きなことを繰り返してあそび、楽しんだりさまざまなことを発見したりする
- ・友だちや保育士と気付いたことやおもしろかったことを伝え合い共有する
- ・保育参観を通して保護者に保育園での生活、あそびへの理解の一助となるようにする

【活動】・絵の具やおはながみ、自然物（草花）を使って色水を作る

- ・シャボン玉や泡立て器で作った泡で遊ぶ
- ・空気砲や空気鉄砲など空気を使って遊ぶ
- ・生き物と触れ合い観察する
- ・風船を使った遊び…風船に乗ってみたり風船の上でごろごろしてみる
粘土、片栗粉、洗濯のりなど色々なものを入れた風船を握って感触や音を楽しむ
- ・ペットボトルを使った遊び…むっくりでるでる、水からでるでる、水中エレベーター
ペットボトルブクブク、ペットボトルレンズ、センサリーボトル



7月27～29日 水フェスティバル

【ねらい】・心身ともに開放して生き生き、のびのびとあそぶ

- ・水、砂、泥などの感触を楽しみ、面白さや不思議さに気付く
- ・友だちや保育士と一緒にあそび、楽しさを共有する

【活動】・水、砂、泥を使った様々なコーナーを用意し、好きな遊びを楽しむ

- 水鉄砲、ポンポンシャカシャカ、水風船、といに流す、金魚すくい、船、噴水
たこたたき、色水あそび、ボーリング、フープバリア、水のエレベーター
- ・泡立て器、メレンゲスティックなどで作った泡でままごとや、シャンプーごっこ、洗濯ごっこなどの遊びを楽しむ



【ねらい】・興味を持った遊びを友だちと楽しむ中で発見したこと、嬉しかったことなどを伝え、共感し合い、仲間と一緒に活動する喜びを味わう

・友だちや保育士と楽しい夏のひと時を過ごす

【活動】 9:30 戸外 水鉄砲、水に船や魚を浮かべて遊ぶ、虫探し
自然物を使った色水づくり、テントでくつろぐ
かき氷を食べる（数種類の好きなみつをかける）

10:30 室内 ビュンビュンごま、ペットボトルブック作り
ネックレス、キラキラドレス人形作り
飯盒炊飯の準備（洗米、水につける、線まで水を入れる）

11:45 ・給食

13:00 ・テントに見立てた布を吊った室内でお昼寝

15:00 ・おやつ

15:40 ・飯盒炊飯、お味噌汁づくりの見学
・ちょうちんを飾ったり、ダンスを踊る

16:20 ・飯盒で炊いたご飯に好きな具を入れ、おにぎりを作って食べる

18:00 ・保育士が出す夜店で遊ぶ（ゲーム、食べ物、おめん）

19:10 ・段ボールタワーを囲んでダンスなどの集いを行い、自分が作ったちょうちんを持って保護者と一緒に降園する



9月7.8日 手足でアート

【ねらい】・のびのびとダイナミックに表現する楽しさを味わう

・絵の具の感触を楽しむ

・色が混ざり変化したり、形や模様ができるおもしろさや美しさなどに気付く

【活動】・壁や地面、ダンボールタワーなどいろいろな場所に描く

・手や足、筆やブラシ、タンポや棒、霧吹きやスタンプなど様々なものを使用して描く

・水でといた片栗粉を触って感触を楽しむ



10月4～6日 わくわくスポーツ2022

【ねらい】・それぞれの年齢らしさを発揮し、のびのびと体を動かすことを楽しみ、とびっきりの笑顔で参加する

・勝ってうれしい気持ち、負けてくやしい気持ちなど、いろいろな気持ちを経験する中で、友だちと喜び合ったり励まし合ったり、作戦を考えたりしながら楽しい、もう一回やってみようという思いを持つ

・自分なりに目標を持ち、挑戦しようという気持ちを養う、また達成感を味わう

11月7日 芋掘り遠足 <4.5歳児>

【ねらい】・土、さつまいもなど自然物に触れ、手触り、色、形、大きさなど、様々なことを発見したり感じたりする

・発見したり感じたりしたことを友だちや保育士と伝え合う

・収穫を喜び、感謝の気持ちを持つ

【活動】・クラス毎に小型バスに乗り、園で借りている畑まで行く

・一人一株ずつさつま芋を掘り、ひとつずつ持ち帰る



11月9～11日 **うきうきオータムランド**

- 【ねらい】・木の実、落ち葉、風など秋の自然に触れて遊ぶ
- ・自然物に触れたり転がしたりしながらその特性に親しみ、試したり考えたりしながら遊ぶことを楽しむ
 - ・秋祭りの様子を再現したり、雰囲気を楽しんだりする



- 【活動】・どんぐり転がし、どんぐり落とし、おなもみの的あて、自然物を使ったまごと、落ち葉プール、松葉相撲、どんぐりごま、どんぐりのやじろべえ、ミニアスレチック
- ・秋祭り…手裏剣投げ、釣り、輪投げ、バーベキューごっこ、はっぴを着る、おみこしを担ぐ、4歳児クラスが制作したりんご飴やアイスなどで屋台屋さんごっこをする
 - ・ヨーヨー釣り（1日目のみ）綿菓子を食べる（3日目のみ）

1月11.16.17日 **七草がゆ・お正月あそび・とんどまつり**

- 【ねらい】・日本の伝統行事や由来、あそび、昔話などに興味や関心を持ち、触れたり遊んだりして親む
- ・七草がゆを味わったり、お正月あそびを楽しんだりして、お正月の雰囲気を感じる
- 【活動】・お正月あそび…羽根つき、こま回し、ししまい、ふくわらい、大型だるまおとし
- ジャンボすごろく（5歳児が制作）、ジャンボかるた
 - 絵馬作り（2歳以上児）、もちつきごっこ、もちやきごっこ
 - ・七福神めぐり…園庭に七福神と干支の寅の祠をつくり、それぞれに因んだ飾り籠をつけて回り、最後におみくじを引く
 - ・七草がゆ…七草を自由に見たり触ったりできるように置く
 - 戸外で保育士が作る場所を見た後、3歳以上児のクラスに配り食べる



2月20～22日 **お店屋さんごっこ**

- 【ねらい】<4.5歳児>
- ・友だちとアイデアを出し合いながら、自分たちで活動を進めていく喜びや充実感を味わう
 - ・異年齢児との交流を通して親しみの気持ちを持ち、教えてあげたり優しくしてあげたりすることに喜びを感じる



<年少児>

- ・年長児がしていることに興味や関心を持ち、喜んで見たり関わったりする
- ・異年齢児との交流を通して親しみや憧れの気持ちを持つ

- 【活動】・4.5歳児がクラスごとに考えたお店屋さんで、3歳以下のお客さんを案内したり、お互いに行き来して楽しんだりする

ばら1くみ…お菓子屋さん、フルーツ屋さん、ゲームセンター、ペープサート

ばら2くみ…レストラン、お化け屋敷、的あて

ひまわりぐみ…ペットショップ、おもちゃ屋さん、虫屋さん

ゆりぐみ…魚釣り屋さん、森のレストラン、泉の変身コーナー



3月10日 **春さがし**

- 【ねらい】・暖かい風、光、草木の芽吹きを発見し、春の訪れを感じる

- ・友だちや異年齢児との交流を楽しみ、生き生きと活動する
- 【活動】 ・春探しスタンプラリー（4.5歳児のみ）
- ・春の妖精探し（妖精のポップをプランターや木に付けたものを探す）
- ・紙飛行機とばし



3年目のプロジェクトでは、今までの活動を基に継続するもの、新しいアイデアのものなど、主任と係の職員を中心に各クラスで意見を出したのものや、年長児の意見を反映する。子どもたちの様子に合わせて場所や遊びが変化できるようにしていくことで、満足感や達成感を味わう体験になったのではないだろうか。

コロナ禍ではあったが、分散する形で参観日も復活できた。プロジェクトの活動を続けてきたことで、子どもたちが戸外でも自ら遊びを選び、夢中で楽しむ姿が自然な形で見ていただけたと思う。プロジェクトを楽しみにして日々の遊びが充実したり、わくわくした気持ちで目を輝かせている様子は、職員のモチベーションを上げ、保育の楽しさとして体感できている。

主な行事のまとめ

毎月の行事

- ・納入日
- ・誕生写真
- ・健康観察
- ・身体測定
- ・災害訓練
- ・誕生会
- ・体育遊びは状況に応じて中止や開催

令和4年度

コロナ禍により年間行事に入っていないもの










- ・親子遠足・バザー・眼科検診・タペの集い
- ・プール・祖父母との集い・雪遊び・同窓会

4月	1日	金	・進級式(進級児)入園式(新入児) (進級児176名新入児38名計214名の園児を迎える)	入園式は年齢ごとに2回 進級式は園庭→各クラス
	5日	火	・新型コロナウイルス感染症発生のため、休園となる(～7日)	
	8日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園	
	26日	火	・こどもまつり(～28日)	
5月	6日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園	
	9日	月	・検尿(4.5歳児) ・9～19日岡山情報ビジネス学院より1名保育実習に来る	オープニング設置
	16日	月	・保護者と担任とで個人懇談を行う(～27日)	
	18日	水	・しゃぼん玉で遊ぼう(～20日)	
	23日	月	・本部、施設監事監査(浅田・原監事)	
	28日	土	・水島愛あいサロンで行われる就職ガイダンスへ参加	



	30日	月	・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～31日)		
6月	2日	木	・理事会 3年度決算報告と事業報告		倉敷公民館にて
	3日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 ・歯科検診(倉敷中央病院より歯科医師、歯科衛生士来園)		虫歯予防の指導中止
	6日	月	・倉敷看護専門学校より5名看護実習に来る(～7日)		
	8日	水	・8～18日川崎医療福祉大学より2名保育実習に来る		
	9日	木	・内科健診(3.4.5歳児) 羽島こども診療所より「榎先生」来園		
	20日	月	・大原美術館未就学児童対象プログラム(5歳児)全1回 ・20～30日ノートルダム清心女子大学より2名保育実習に来る		大原美術館
	21日	火	・ふしぎランド(～24日) ・参観日(～24日)		分散型で行う 倉敷公民館にて
	23日	木	・理事会 評議員会		
	25日	土	・水島愛あいサロンで行われる就職ガイダンスへ参加		
	27日	月	・倉敷看護専門学校より4名看護実習に来る(～28日)		
	28日	火	・耳鼻科検診(4.5歳児) 木村耳鼻科より「木村先生」来園		
	30日	木	・内科健診(0.1.2歳児) 羽島こども診療所より「榎先生」来園		
7月	1日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園		
	4日	月	・4日～14日新見公立大学より4名保育実習に来る ・4日をはじめとして職員健康診断が始まる(10月下旬まで) 倉敷中央病院予防医療プラザとあいクリニックに分かれて健診を受ける		
	7日	木	・七夕まつり		倉敷天文台に笹を頂く
	11日	月	・水遊び開始		
	22日	金	・制服(リサイクル)販売①		保護者会
	23日	土	・倉敷市立美術館で開催された恐竜展オープニングに 5歳児の希望者が参加する		
	27日	水	・水フェスティバル(～29日)		
8月	5日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園		
	6日	土	・新型コロナウイルス感染症発生のため、2.3歳児のみ部分 休園となる(～7日)		
	8日	月	・新型コロナウイルス感染症拡大のため、全休園となる(～10日)		
	23日	火	・かき氷パーティー(～24日) 保育学生対象の体験会を行う		倉敷市立短期大学と中国 学園大学学生参加
	25日	木	・25日～9月16日山陽学園短期大学より2名保育実習に来る ・保育学生対象の座談会を行う		
	26日	金	・1 DAY CAMP(5歳児)		
9月	6日	火	・手足でアート(～7日)		中国学園大学学生参加
	7日	水	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 ・保育学生対象の体験会を行う		
	8日	木	・内科健診(3.4.5歳児) 羽島こども診療所より「榎先生」来園		

			・保育学生対象の座談会を行う		
	22日	木	・内科健診(0.1.2歳児) 羽島こども診療所より「楨先生」来園		
	24日	土	・園庭整備		タカトリ、保護者、職員
	28日	水	・わくわくスポーツ2022予行演習		
10月	4日	火	・わくわくスポーツ2022(~6日) 5日のみ保護者観覧日とする		3日間行い、5日のみクラス別に交代して観覧
	7日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 ・お月見会(5歳児)		倉敷天文台にて
	15日	土	・新見公立大学 保育実習(大学校内にて)		
	18日	火	・遠足(3.4.5歳児 バスで備中国分寺へ) お弁当の日		
	21日	金	・お月見会(園内)		
	27日	木	・人形劇観劇(5歳児 倉敷市民会館)		
	28日	金	・インフルエンザ予防接種全職員が受ける(24日より28日まで)		あいクリニック
11月	4日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 ・災害訓練で消防署より消防車がやってくる		オーニング撤去
	7日	月	・芋掘り遠足(4.5歳児) ・7~17日新見公立大学より2名保育実習に来る		借りている堀南の畑
	9日	水	・うきうきオータムランド(~11日)		
	10日	木	・倉敷市の指導監査を受ける		
	12日	土	・新型コロナウイルスワクチン接種 希望者が受ける (12.13.19.20日)		倉敷中央病院にて
	15日	火	・倉敷北、倉敷西中学校より2名ずつ職場体験学習に来る		
	16日	水	・焼き芋大会		
	19日	土	・新型コロナウイルス感染症発生のため、4.5歳児のみ部分休園となる(~22日)		
	24日	木	・生活発表会予行演習(3歳児 倉敷市立美術館にて)		
	28日	月	・28日~12月8日川崎医療福祉大学より3名保育実習に来る		
12月	1日	木	・生活発表会 (3歳児)		倉敷市立美術館にてクラス別に観覧
	2日	金	・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 ・新型コロナウイルス感染症発生のため、休園となる(~3日)		
	7日	水	・倉敷西小学校との交流会(5歳児)		
	9日	金	・倉敷国際ホテルガーデンにて落ち葉遊び(5歳児)		宝探しゲームでのプレゼントやジュースを頂く
	13日	火	・生活発表会予行演習(4.5歳児)		
	14日	水	・おもちつき		
	16日	金	・冬至かぼちゃ炊き(災害用かまど使用) ・クラレ倉敷事業所へジャンボツリー見学(5歳児) 16:00~18:00		子どもたちがお菓子を頂く
	20日	火	・特別支援児保育アドバイザー派遣事業 第1回		川崎医療福祉大学武井教授
	21日	水	・生活発表会(4.5歳児) ・特別支援児保育アドバイザー派遣事業 第2回		倉敷市立美術館にてクラス別に観覧
	23日	金	・クリスマス会 ・職員研修 大原あかね理事長よりお話		
	28日	水	・保育納め		

- | | | | | | |
|----|-----|---|--|--|---|
| 1月 | 4日 | 水 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育始め ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 |  | |
| | 11日 | 水 | <ul style="list-style-type: none"> ・七草粥パーティー(災害用かまど使用) | | 七福神めぐり |
| | 17日 | 火 | <ul style="list-style-type: none"> ・とんどまつり お正月遊び |  | |
| | 18日 | 水 | <ul style="list-style-type: none"> ・さつき会互礼会にて寄付金をいただく ・特別支援児保育アドバイザー派遣事業 第3回 | |  |
| | 23日 | 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・理事会 | | 芸文館にて |
| | 30日 | 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援児保育アドバイザー派遣事業 第4回 ・保護者と担任とで個人懇談を行う(～2月10日) | | |
| 2月 | 3日 | 金 | <ul style="list-style-type: none"> ・阿智神社節分祭参加(3歳以上児) 節分会(園内) ・卒園写真撮影 ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 |  | 小学校一日入学、説明会
がほとんどの学校で保護
者のみとなる |
| | 6日 | 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・岡山シーガルズバレーボール教室(5歳児) | | 保護者会 |
| | 8日 | 水 | <ul style="list-style-type: none"> ・制服(リサイクル)販売② | | |
| | 14日 | 火 | <ul style="list-style-type: none"> ・芋ぜんざい作り(災害用かまど使用) |  | |
| | 17日 | 金 | <ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会(人形劇) | |  |
| | 20日 | 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ遊び お店屋さんごっこ(～22日) | | |
| | 24日 | 金 | <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児 食事会・テーブルマナー(昼食) | | 国際ホテルにて |
| | 25日 | 土 | <ul style="list-style-type: none"> ・水島愛あいサロンで行われる就活フェアへ参加 | | |
| | 28日 | 火 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援児保育アドバイザー派遣事業 第5回 ・災害訓練(引き渡し訓練)を降園時に行う | |  |
| 3月 | 3日 | 金 | <ul style="list-style-type: none"> ・阿智神社雛祭り会参加(5歳児) ひなまつり会(園内) ・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園 | | |
| | 10日 | 金 | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ遊び 見つかるかな 春探し |  | |
| | 15日 | 水 | <ul style="list-style-type: none"> ・人力車体験(5歳児) 地域ボランティア活動として ・職員研修「パワハラ、児童虐待について」
講師:森脇法律事務所 竹内弁護士 | | えびす屋
一日入園中止→個別面接 |
| | 16日 | 木 | <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当の日 お別れ会(4.5歳児) |  | |
| | 25日 | 土 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒園式 | | 来賓なし |
| | 28日 | 火 | <ul style="list-style-type: none"> ・理事会 | | 倉敷公民館にて |

施 設 整 備

令和4年度は施設整備を次の通り行った。

修 繕

内 訳

* 10万以上のもの

金 額

1	園庭遊具補修	583,000
2	乾燥室、年長廊下、あゆみ前床下工事	474,100
3	砂場木枠取替	165,000
4	南境界外壁工事及び付帯工事	2,365,000
5	木造2階建防火隔壁設置工事	1,829,300

計 5,416,400

固定資産

内 訳

器具・備品

1	ノートパソコン（クラス用）	148,000
2	ノートパソコン（クラス用）	148,000

計 296,000